



46

せとがわ 瀬戸川

岐阜県古川町一之町

古川町は、岐阜県の北端に位置し、本州の中央を縦断する“日本アルプス”に囲まれた飛騨高原、古川盆地にひらけている。町の大部分の土地が海拔500メートル以上であるため、気候は冷涼で、四季の変化がはっきりしており、四季それぞれに趣きのある街である。〔文化・観光〕白壁土蔵、奥飛騨数河流葉自然公園、古川祭（4月19、20日）



古川町は奥飛騨にある古い町である。今から四〇〇年ほど前豊臣秀吉の命により、飛騨を平定した金森長近の養子可重は、城下町づくりの際に、住民の生活用水に供するために瀬戸川をつくった。

現在も造り酒屋の白壁土蔵や由緒ある寺院の間をぬうように清らかな水が静かに流れており、水辺の小径を歩いていると、往時の城下町時代に迷い込んだような風情が感じられる。

こうした歴史的景観を残している瀬戸川を保全するため地域住民は、建物を改築する場合には景観に配慮するほか、各種団体も鯉の放流、燈籠の設置、河川清掃などの諸活動を行っている。